


在宅医療用語集（ケアポイント含む）

行	用語	解	釈	
あ	アセスメント	事前評価、初期評価のこと。介護サービス利用者の身体機能や環境などを事前に把握、評価することで、ケアプランの作成等、今後のケアに必要な見通しをたてるために必要な評価を指す。		
	アナフィラキシーショック	付記（ケアポイント）	薬品（抗生物質など）・食事（そば、マンゴー、キウイ、ゴムなど南洋系の果実や植物など）のアレルギーの有無を確認しておきましょう。食直後にヒューヒューと言いつつ呼吸困難が起きたら、窒息以外ならこの事を疑って救急要請！	
	アンブタ（アンブテーション）	付記（ケアポイント）	（四肢の）切断、切除術をいう。例えば、下肢に“がん”ができ、転移がある場合は膝下もしくは股関節部で足を切断する。また、糖尿病性神経障害で、指先が壊死（腐る）してきた場合などにも行われる。 糖尿病患者は無症状で病気が進行することがある！爪きり時、深爪に注意！靴ずれに注意！水虫に注意！常に足はきれいに洗って観察をしましょう！ “たかがキズ、されどキズ”です。糖尿病の人は要注意！	
	意思伝達装置	障害により、音声による会話ができなくなった場合に使用する機器。色々なスイッチを工夫して入力することにより、アイウエオ表から文字を指定して言葉をつくって会話をします。		
	移乗動作	付記（ケアポイント）	別名トランスファー	
	イルリガートル		高圧洗腸・洗腸（人工肛門）・膣洗浄などに用いる医療器具。栄養剤・微温湯・薬液を入れる容器でゴム管とコネクター部からなる。在宅では栄養剤注入目的が主である。 付記（ケアポイント） 近年は、栄養剤が入ったパック式が多く出回っていて、余り使用されていません。	
	イレウス（腸閉塞）	付記（ケアポイント）	腸内容の通過障害が何らかの原因により起こり、腸液、ガス、糞便などが腸内腔に充満し、排便や排ガスがなくなり、腹痛・嘔吐・腹部膨満などの症状が出る。 ショック状態（冷汗、青白い顔、脈が弱いなど）になったら、生命の危険を伴うことがあり緊急手術が必要になることもある！救急車要請！	
	胃ろう造設術（PEG：ペグ）	付記（ケアポイント）	主に経口摂取が困難な患者さんに対して、人為的に皮膚と胃に瘻孔（ろうこう）を作成（皮膚から直接胃につながる穴を作成）、チューブを留置し、栄養・薬・水分を注入するために行う。 穴（ピアスの穴と同じ）が完成するには約1ヶ月かかります。1ヶ月前に抜けたら、すぐ病院へ受診！1ヵ月経過後に抜けた場合は、穴にカテーテル（家族が持っている）をすぐ入れないと閉じてしまい、再手術が必要になってきます！入れる方法は家族に指導がされています。	
	インターク	援助においての初めての相談のこと。		
	インフォーマルサービス	行政が直接・間接的に提供するサービスでは充足されない隠れたニーズに対応するサービスのこと。対義語はフォーマルサービス。		
	エバリュエーション	事後評価のこと。介護サービス終了時や一段落した時に、今までの過程や効果を判定し、新たな課題や今後の方針などを利用者と一緒に検討することをいう。		
	嚥下障害	食べ物・飲み物や唾液を飲み込むことが困難になること。食物が摂取できなくなると唾液の分泌も少なく、自浄作用（自身できれいにする力）の低下を招き、口中の細菌が繁殖しやすくなっていく。結果、寝たきりや麻痺のある人などは、唾液とともに細菌が気管へ入って誤嚥性肺炎を起こすことがある。嚥下障害者（高齢者含む）に対しては口腔ケアが肺炎予防になる。 *別紙、「摂食・嚥下障害の確認用紙」でスクリーニング、必要時専門医受診。		
	往診	患者さんの求めに応じて、急変時に訪問して行う診察。		
	か	介護保険制度	40歳以上の方が介護保険料を支払い、その保険料を財源として、介護が必要となった人たちに介護サービスを提供する制度。サービスを受けることができるのは、65歳以上で介護の必要な方、または40～64歳で特定の疾患によって介護が必要な方が対象。各市町村に介護保険に関する窓口がある。	